

FULL AUTOMATIC TELEPHONE SET

Patent Number: JP7074817
Publication date: 1995-03-17
Inventor(s): KOGA YASUTOSHI
Applicant(s): NEC CORP
Requested Patent: ☐ JP7074817
Application Number: JP19930219346 19930903
Priority Number(s):
IPC Classification: H04M1/64
EC Classification:
Equivalents: JP2546512B2

Abstract

PURPOSE:To conduct exactly expected answer dealings at all time.
CONSTITUTION:This telephone set has an individual information part 4 where individual information is registered, a reserving function part 1 which sets the date and time of calling, a speech recognition part 5 which recognizes an opposite-party's voice and answers the registered information in the individual information part 4, and an error pattern part 3 which answers to the opposite party by using an error pattern previously registered corresponding to an error answer if the opposite party makes the error answer.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-74817

(43) 公開日 平成7年(1995)3月17日

(51) Int.Cl.⁸

H 0 4 M 1/64

識別記号

Z

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

審査請求 有 請求項の数 2 O L (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平5-219346

(22) 出願日 平成5年(1993)9月3日

(71) 出願人 000004237

日本電気株式会社

東京都港区芝五丁目7番1号

(72) 発明者 古賀 康稔

東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株

式会社内

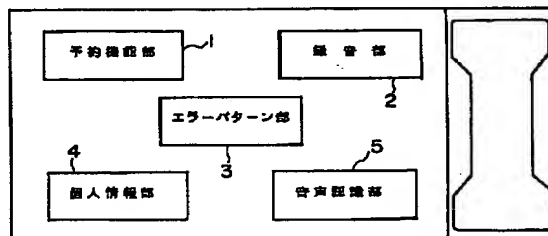
(74) 代理人 弁理士 後藤 洋介 (外2名)

(54) 【発明の名称】 全自動電話機

(57) 【要約】

【目的】 常に自分が予定していたアンサー取引を正確に行うこと。

【構成】 個人情報を登録する個人情報部4と、電話をかける日時をセットする予約機能部1と、相手方の音声を認識し、前記個人情報部4の登録情報を応答する音声認識部5と、前記相手方がエラー応答した場合に、予めエラー応答に対応する登録してあるエラーパターンにより前記相手方に応答を返すエラーパターン部3とを有している。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ICカードを利用する電話機において、個人情報登録する個人情報部と、電話をかける日時をセットする予約機能部と、相手方の音声認識し、前記個人情報部の登録情報を応答する音声認識部と、前記相手方がエラー応答した場合に、予めエラー応答に対応するよう登録してあるエラーパターンにより前記相手方に応答を返すエラーパターン部とを有していることを特徴とする全自動電話機。

【請求項2】 前記エラーパターン部には、前記エラーパターンが予めICに内蔵されていることを特徴とする請求項1記載の全自動電話機。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、全自動電話機に関し、特に、銀行振込に使用されるアンサー取り引きにおいてエラー応答する全自動電話機に関する。

【0002】

【従来の技術】従来のICを内蔵してあるブッシュホン電話機には、自分の所望する時間にセットして電話をする予約電話としての機能を付加しているが、相手とのやり取りを定形化することなく、一方的に相手に対して連絡するといった機能のみを有している。

【0003】また、相手からの連絡を録音テープ等に録音するといった技術である（例えば、特開平2-52549号公報を参照）。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】従来の電話機では、銀行等の相手方業務であるアンサー取り引きに使用した場合、エラーがないときには正常に動作するが、ノイズ電波等で相手に正しく伝えられず相手からエラー応答音が返ってきたときに、誤動作してしまつて正常に取り引きができないといった問題がある。

【0005】それ故に本発明の課題は、アンサー取り引きでエラー応答に対応する応答を返すことによって、常に自分が予定していた取り引きを正確に行うことができる全自動電話機を提供することにある。

【0006】

【課題を解決するための手段】本発明によれば、ICカードを利用する電話機において、個人情報を登録する個人情報部と、電話をかける日時をセットする予約機能部と、相手方の音声認識し、前記個人情報部の登録情報を応答する音声認識部と、前記相手方がエラー応答した場合に、予めエラー応答に対応するよう登録してあるエラーパターンにより前記相手方に応答を返すエラーパターン部とを有していることを特徴とする全自動電話機が得られる。

【0007】また、本発明によれば、前記エラーパターンには、予めICに内蔵されていることを特徴とする全自動電話機が得られる。

【0008】

【作用】本発明の全自動電話機では、エラーパターンをICに内蔵し、個人情報と連動させるとともに、音声認識部によって、銀行業務であるアンサー取り引きでエラー応答することによって、常に自分が予定していた取り引きを正確に行うことができる。この全ての動作を予約機能に付加することによって人手をわずらわずことなくアンサー取引を行うことができる。

【0009】

【実施例】本発明の全自動電話機について、図1を参照して以下に説明する。

【0010】ICカードを利用する電話機は、個人情報を登録する個人情報部4と、電話をかける日時をセットする予約機能部1と、相手方の音声認識し、個人情報部4の登録情報を応答する音声認識部5と、相手方がエラー応答した場合に、予めエラー応答に対応するよう登録してあるエラーパターンにより相手方に応答を返すエラーパターン部3とを有している。エラーパターン部3は、個人情報部4及び音声認識部5に連動している。

【0011】銀行等のアンサー取り引きに用いるICカードは、電話番号部、振込元支店番号・科目・口座番号部、振込先支店番号・科目・口座番号部、暗証番号部、登録データ部、エラー対応部、及び保存データ部をもっている。

【0012】まず、全自動電話機の個人情報部4には、個人情報である自分の取引先の電話番号や取引内容を登録する。即ち、各個人が、電話番号、振込元支店番号・科目・口座番号、振込先支店番号・科目・口座番号部、暗証番号部にインデックスを付けそれぞれ登録する。予約機能部1には、自分の取引したい日時をセットする。

【0013】このように、個人情報及び日時のセットの2点のみを電話機に登録しておくことにより各個人の登録処理は終了する。

【0014】エラー応答に対応するエラーパターン部3には、予め音声認識部5と連動させてエラーパターンを登録してある。予約機能部1に登録してある登録日時が到達すると自動的にICカード内の登録データ部の内容に従つて動作する。

【0015】このように、セットしておく、と、まず、予約機能部1により自分がセットしてある相手方のアンサーセンターに自動的に電話をかける。そうすると、アンサーセンターから取引コードや口座番号等を聞いてくるので、その音声を音声認識部5が判断し、登録してあるそれぞれの情報をブッシュ音により応答を行う。

【0016】この時に応答エラー等で相手方のアンサーセンターが正しく認識してくれなかった場合には、アンサーセンターからエラー応答があったときに、エラーパターン部3に予めIC内に基本部として登録してあるエラーパターンにより応答を返す。

【0017】次に、これらの一連の応答処理が正しく取

引ができたことを録音部2に録音しておく。

【0018】

【発明の効果】以上、実施例により説明したように、本発明の全自動電話機によれば、予約機能部と、個人情報部と、エラーパターンに登録したエラーパターン部とに情報を登録しておくことで、旅行にいている最中や、その場所にいなくても自分の好きな時間に、かつ正常にエラー対応をもった業務であるアンサー取引を行うことができる。

【0019】また、アンサー取り引きでエラー応答することによって、常に自分が予定していた取り引きを正確に行うことができる。このように全ての動作をする機能*

＊を付加することによって人手をわずらわずことなくアンサー取引を行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の電話機の一実施例を示す構成図である。

【符号の説明】

- 1 予約機能部
- 2 録音部
- 3 エラーパターン部
- 4 個人情報部
- 5 音声認識部

【図1】

